

令和6年6月25日

令和6年度第1回学校運営協議会議事録

城郷高校会議室 14:55～16:15

出席委員 片倉三枚地域ケアプラザ 所長 粕屋修様
(代理出席 副所長 田村様)

横浜市立菅田中学校 校長 山口毅様

片倉町自治会 会長 中野松男様

城郷高校PTA会長 鶴田君代様

城郷高校 校長 細田俊哉

本校より 副校長 青木博久

教頭 鷹野正明

総括教諭 (生徒活動) 縄野匡哉

総括教諭 (研究推進) 川口智史

総括教諭 (教務情報) 松岡慶

総括教諭 (総務渉外) 金澤健敏

総括教諭 (生活) 小池健一

総括教諭 (キャリア支援) 山崎修平

- 1 資料確認 (副校長)
- 2 学校長挨拶
4年間の学校教育目標についての検討をお願いしたい
学校行事にも来ていただきたい
- 3 委員委嘱 (委嘱状授与)
- 4 自己紹介
- 5 今年度委員長について
元平成帝京大学教授 浜崎美保様
- 6 今年度の取り組みについて (学校長)
学校要覧をもとに説明
インクルーシブ教育
シチズンシップ教育
人権教育 を融合させながら推進している
グランドミッション、スクールミッション、アドミッションポリシー、
かながわこどもサポートドック4年間単年度の目標の説明
- 7 質疑応答
 - ・進路に関し、希望どおりの進路実現を目指してほしい
 - ・インクルーシブ教育に関して、知的障害があることが特別募集の志願資格である。入学後は、個別教育計画に基づいて評価をし、特別扱いをせず必要な配慮と支援を行っている。また、特別募集の生徒の多くが、部活や委員会に入って活躍している。学校内に自身の居場所があるようだ。

- ・特別募集、一般募集の生徒間は、高校生として適切な距離感を保ちながら、自然な感じで共に生活や学習をしている。特別募集の生徒をはじき出さない雰囲気が城郷にはある。
 - ・今年度の特別募集の人数が減少したのはインクルーシブ教育実践推進校が増えた影響があるのではと考えている。
 - ・キャリア教育では、進学希望者に、上級学校卒業後のことを考えるように指導をしている。1，2年のうちから大学や専門学校の教員等に来校してもらいガイダンスを行っている。
 - ・シチズンシップ教育は、まず地元を知ることからスタートし、地元をよりよくしたい気持ちで、政治参加につながるよう計画をしている。
 - ・地域ケアプラザは高齢者のものではなく、子供や地域のためのものであるので生徒のボランティアや交流にも活用してほしい。
 - ・コロナから日常の学校活動が戻ってきて、行事ができるようになった。部活動65%ほどの加入率。
 - ・昨今は指導というより支援の側面が強くなっている。グループだけでなく全職員が一緒になって考えていこうという雰囲気がある。自己防衛力が不足している生徒が見受けられるので地域や保護者の力も借りながら安心、安全に注力していきたい。
-
- ・今年度の目標、方針を承認いただきたい。
 - ・異議なし。
 - ・諸連絡
- 10月に中間報告（書面）
年度末に第3回委員会を開催予定
文化祭（9月20・21日）21日は一般公開なので是非見に来ていただきたい。